学校番号	1004

平成３１年度　芸術科

教科	書道	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	書道Ⅱ（東京書籍）						
副教材等	改訂基本　ペン習字（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰで学んだ内容を応用、発展させ、自ら学び、自ら考える力をつけよう。
・鑑賞力を高めて感性を磨き、思考・判断し表現する能力をつけよう。
・篆書、隷書、草書を学び書表現の幅を広げよう。

２　学習の到達目標

書の伝統と文化についての理解を深めるため、書道Ⅰで学習した内容を発展させた様々な創作活動を通じ、生涯書道を愛好する心情を育成する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい，書の伝統と文化に関心をもって，主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書表現の諸要素を感受し，感性を働かせながら，自らの意図に基づいて構想し，表現を工夫している。	創造的な書表現をするために，書の効果的な表現の技能を身に付け表している	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し，その価値を考え,書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	漢字の書(楷書)	楷書 **臨書・鑑賞** 張猛龍碑 薦季直表　鍾繇 爨宝子碑 元彦墓誌銘 賢愚経(大聖武)伝聖武天皇	○		○		a: 書道Ⅰの楷書の学習を踏まえ、より個性的な書表現を理解し、臨書ができている。 b:人物や時代背景について理解できている。 c：楷書の古典の美について理解し，用筆，運筆，字形の取り方などに注意している。 d:字形、筆順が正しくできているか。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
	漢字の書(楷書)	行書 **臨書・鑑賞** 集王聖教序　王羲之 李柏尺牘稿 温泉銘　太宗 灌頂記　空海 苕渓詩巻　米芾 （夏季休暇の課題として硬筆を扱う）	○	○	○		a:行書に対する興味・関心を深め歴史的位置付けを理解できている。 b:さまざまな行書の書風を鑑賞し、行書の表現の多様性を理解できている。 c:字形の構成や全体構成の要素を理解し、個性豊かで、創造的な表現につなげている。 d:日本と中国の行書に興味、関心を持ち歴史的な流れを理解している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
二学期	篆書	篆書 **臨書・鑑賞・創作** 石鼓文 甲骨文 泰山刻石	○	○	○		a:篆書に興味を持ち歴史的位置付けを理解している。 b:篆書の用筆・運筆、結構の特徴を理解し、表現できている。 c:篆書の技法を生かせて、主体的に作品を制作することができる。 d:篆書作品を鑑賞し、表現の多様性を理解し、書美に対する感性と愛好心が身についている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

期	刻字	刻字 書と刻字 刻字の用具･用材 刻字作品の制作手順		○		○	a:刻字が書の表現であることを理解し、草稿が丁寧にできている。 b:用具の使い方が正しくできている。 c：陽刻と陰刻の表現の違いによる理解ができている。 d：いろいろな作品を鑑賞し、刻字の表現の多様性を理解し、個性を生かした作品になっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
三 学 期	仮名	**臨書・鑑賞** 粘葉本和漢朗詠集 関戸本 継色紙 創作作品制作	○		○		a:書道Ⅰを踏まえて、日本独自の仮名の美を鑑賞し、日本の伝統と文化を理解している。 b:書道Ⅰを踏まえて、より個性的で多様な仮名の表現を鑑賞し、理解できている。 c:仮名の古典の美について理解し、用筆、運筆、字形の取り方に注意し、臨書できている。 d:古典で学んだ特徴、技法をいかして、主体的に創作に取り組んでいる。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
	漢字仮名交じり書	名筆･古典に学ぶ漢字と仮名の調和 仮名に学ぶ漢字と仮名の調和 隷書に学ぶ漢字と仮名の調和 創作作品制作		○	○		a:漢字仮名交じりで書かれた名筆・古典を鑑賞し、漢字と仮名の調和について理解できている。 b:書道Ⅰで未習の仮名の古典の特徴を学習し、調和する漢字を。 c：書体、書風の違いによる表現の違いが理解できている。 d：さまざまな作品を鑑賞し、表現の多様性を理解し、自己の作品に生かせている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　d:鑑賞の能力

※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

学校番号	1004

平成３１年度　芸術科

教科	書道	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰで学んだ内容を応用、発展させ、自ら学び、自ら考える力をつけよう。
・鑑賞力を高めて感性を磨き、思考・判断し表現する能力を見につけよう。
・篆書、隷書、草書を学び書表現の幅を広げよう。

2　学習の到達目標

書の伝統と文化についての理解を深めるため､書道Ⅰで学習した内容を発展させた様々な創作活動を通じ、生涯書道を愛好する心情を育成する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい, 書の伝統と文化に関心をもって, 主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書表現の諸要素を感受し, 感性を働かせながら, 自らの意図に基づいて構想し, 表現を工夫している。	創造的な書表現をするために，書の効果的な表現の技能を身に付け表している	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し，その価値を考え，書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	漢字の書(楷書)	楷書 **臨書・鑑賞** 張猛龍碑 薦季直表　鍾繇 爨宝子碑 元彦墓誌銘 賢愚経(大聖武)伝聖武天皇	○		○		a: 書道Ⅰの楷書の学習を踏まえ、より個性的な書表現を理解し、臨書ができている。 b:人物や時代背景について理解できている。 c：楷書の古典の美について理解し，用筆，運筆，字形の取り方などに注意している。 d:字形、筆順が正しくできているか。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
	漢字の書(行書・草書)	行書 **臨書・鑑賞** 集王聖教序　王羲之 李柏尺牘稿 温泉銘　太宗 灌頂記　空海 苕渓詩巻　米芾 草書 臨書・鑑賞 書譜　孫過庭 十七帖　王羲之 （夏季休暇の課題として硬筆を課する）	○	○	○		a:行書、草書に対する興味・関心を深め歴史的位置付けを理解できている。 b:さまざまな行書、草書の書風を鑑賞し、行書、草書の表現の多様性を理解できている。 c:字形の構成や全体構成の要素を理解し、個性豊かで、創造的な表現につなげている。 d:日本と中国の行書、草書に興味、関心を持ち歴史的な流れを理解している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
二学	篆書と篆刻	篆書 **臨書・鑑賞・創作** 石鼓文 甲骨文 泰山刻石 篆刻 鈴印の篆刻	○	○	○		a:篆書に興味を持ち歴史的位置付けを理解している。 b:篆書の用筆・運筆、結構の特徴を理解し、表現できている。 c:篆書の技法を生かせて、主体的に作品を制作することができる。 d:篆書作品を鑑賞し、表現の多様性を理解し、書美に対する感性と愛好心が身についている。 e:書道Ⅰで学習した篆刻の技法を用いて、鈴印を制作できているか。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

期	刻字	刻字 書と刻字 刻字の用具･用材 刻字作品の制作手順		○		○	a:刻字が書の表現であることを理解し、草稿が丁寧にできている。 b:用具の使い方が正しくできている。 c：陽刻と陰刻の表現の違いによる理解ができている。 d：いろいろな作品を鑑賞し、刻字の表現の多様性を理解し、個性を生かした作品になっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
三 学 期	仮名	**臨書・鑑賞** 粘葉本和漢 朗詠集 関戸本 古今和歌集 十五番歌合 本願寺本三十六人家集（石山切）（伊勢集） 継色紙 創作作品制作	○		○		a:書道Ⅰを踏まえて、日本独自の仮名の美を鑑賞し、日本の伝統と文化を理解している。 b:書道Ⅰを踏まえて、より個性的で多様な仮名の表現を鑑賞し、理解できている。 c:仮名の古典の美について理解し、用筆、運筆、字形の取り方に注意し、臨書できている。 d:古典で学んだ特徴、技法をいかして、主体的に創作に取り組んでいる。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
	漢字仮名交じり書	名筆･古典に学ぶ漢字と仮名の調和 仮名に学ぶ漢字と仮名の調和 隷書に学ぶ漢字と仮名の調和 創作作品制作		○		○	a:漢字仮名交じりで書かれた名筆・古典を鑑賞し、漢字と仮名の調和について理解できている。 b:書道Ⅰで未習の仮名の古典の特徴を学習し、漢字と調和させる。 c：書体、書風の違いによる表現の違いが理解できている。 d：さまざまな作品を鑑賞し、表現の多様性を理解し、自己の作品に生かせている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。